

熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラム 啓発リーフレット

熊本県医師会・熊本県糖尿病対策推進会議・熊本県保険者協議会・熊本県

糖尿病患者様では、
尿蛋白定性検査が陰性であっても
尿アルブミン値を測定しましょう！

尿アルブミン値の算出法

(尿アルブミン／尿クレアチニン比; ACR)

- ①尿アルブミン定量 (μg/ml)
- ②尿クレアチニン定量 (mg/dl)
- ③ACR = ①÷②×100 (mg/gCr)

*「糖尿病性早期腎症」の病名が必要
*3ヶ月に1度まで算定可

糖尿病性腎症の早期診断には、尿アルブミン値の測定が必要！

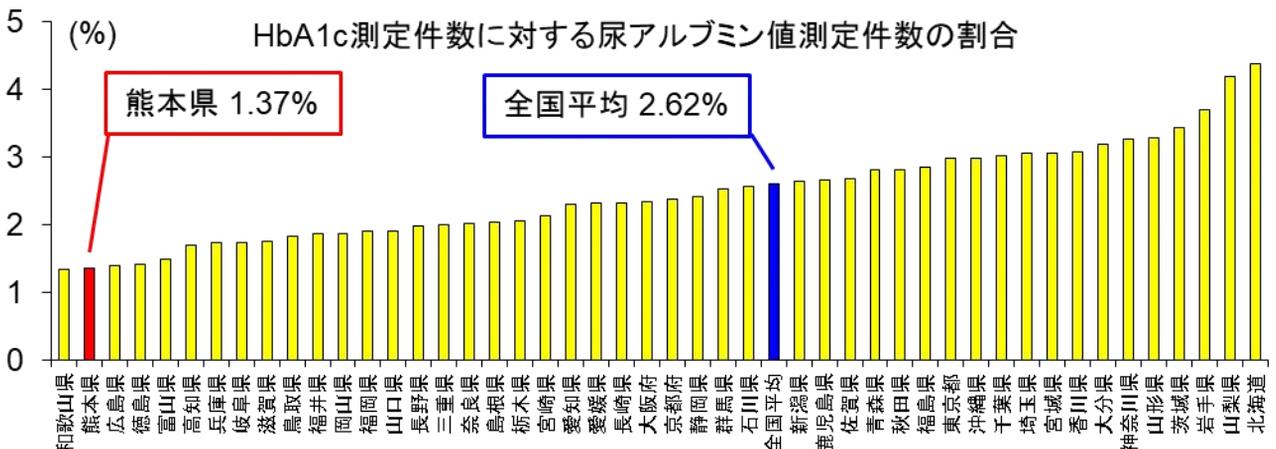
透析導入の主要原疾患の割合は糖尿病性腎症が最も多く、早期診断および介入が糖尿病性腎症の重症化予防に重要となります。

糖尿病性腎症病期分類(改訂) 2013年12月 糖尿病性腎症合同委員会報告より引用

病期	尿アルブミン値 (mg/gCr) あるいは、尿蛋白値 (g/gCr)	GFR(eGFR) (ml/分/1.73m ²)
第1期 (腎症前期)	正常アルブミン尿(30未満)	30以上
第2期 (早期腎症期)	微量アルブミン尿(30～299)	30以上
第3期 (顕性腎症期)	顕性アルブミン尿(300以上) あるいは、持続性蛋白尿(0.5以上)	30以上
第4期 (腎不全期)	問わない	30未満
第5期 (透析療法期)	透析療法中	

熊本県では、尿アルブミン値の測定件数が少ない！

熊本県では、人口対比の透析患者数が全国平均を大きく上回っている一方で、尿アルブミン値の測定件数が少ないことが予想されます(下図)。



糖尿病性腎症重症化予防のための フローチャート(熊本県版)

かかりつけ医・連携医

明らかに糖尿病が疑われる患者様

下記の3つのうち1つでも当てはまる

- ①空腹時血糖値 126 mg/dl 以上
- ②随時血糖値 200 mg/dl 以上
- ③HbA1c 6.5% 以上

既に糖尿病と診断または糖尿病治療されている患者様

かつ ↓

糖尿病性腎症 第1~2期 相当

尿蛋白定性検査 (-)~(±)

かつ ↓

糖尿病性腎症 第3期 相当

持続的に尿蛋白定性検査 (+) 以上
(ACR 300 以上に相当)
(ACR 測定不要)

尿アルブミン値の測定

(尿アルブミン/尿クレアチニン比; ACR)

- ①尿アルブミン定量 (µg/ml)
- ②尿クレアチニン定量 (mg/dl)
- ③ACR = ① ÷ ② × 100 (mg/gCr)

定期的な
ACR測定

ACR 30未満

ACR 30以上

eGFR
60以上

eGFR
45以上60 未満

eGFR
45未満

血尿なし

血尿+

40才以上

40才未満

糖尿病連携パス
(DM熊友パス)
を活用した
紹介・連携

糖尿病専門医
糖尿病連携医

- ・腎症 第3期以上
- ・eGFR 45未満

紹介・連携

腎臓専門医

- ・血糖コントロール不良



(備考) 尿アルブミン値測定の際には、「糖尿病性早期腎症」の病名を忘れずに尿アルブミン値は、「糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)」に対して行った場合に、3ヶ月に1回に限り算定できる。」とされています。